

南越前ダイビングパークが完成 竣工式を挙行



4月26日、かねてから整備が進められていた、南越前ダイビングパークが完成し、竣工式が行われました。この施設は、豊かな海洋資源を利用して、多様な海浜レクリエーション活動を展開できる観光施設の活性化を推進することを目的に旧河野村がマリナーパーク事業を計画し、整備してきました。管理棟は鉄筋コンクリート2階建てで延べ床面積470㎡、1日最大300人が利用できる更衣室やシャワーを完備。ビーチダイビングとボートダイビングができるポイントがあり、ダイビング初級者から上級者まで楽しめます。併せて、バーベキュー広場や遊歩道も整備され、総事業費は約5億7,000万円です。



式典では、増澤町長ら関係者約40人が出席。増澤町長は「町民の自然とのふれあいの場や憩いの場として、また、中京や関西方面からの観光客の誘致により地域の活性化が推進されることを期待したい」と式辞。施設を運営・管理する㈱南越前ダイビングパークの南敏廣社長が「民間のノウハウをフルに駆使しながら、利益を創出し、施設の整備目的を達成したい」とあいさつを述べました。式典後、オープンを待ち望んだダイバーらは、早速海に潜り、河野のきれいな海を満喫していました。

※町民の方は、使用料の内、施設使用料1,050円が割引されます。



大漁まつり

4月26日、南越前ダイビングパーク駐車場で大漁まつりが開かれました。

会場にはカレイやハタハタなどの海産物、へしこやおろしそばなどの特産品、また焼きそば、焼きイカ、焼きホタテなど海の幸いっぱいのお店が並び、夏を思わせるような陽気に恵まれたこともあって、多くの来場者でにぎわいました。

また、河野八双会によるつきたての紅白もちや、魚介類がたっぷり入った海鮮大鍋が振舞われました。

関係者らは「今年初めて開催するイベントでしたが、予想以上の来場者に驚きました。今後もゴールデンウィークにあわせて開催し、南越前町の良さをもっと多くの方々にPRし、地元活性化につなげていきたい」と話していました。

